

被災地クラブの活動状況と復興へ向けて(福島県:後編)

～福島県浜通り地区にある総合型クラブへの支援と今後の展望～

(財)福島県体育協会 浜通り広域スポーツセンター
チーフマネジャー 愛川政弘

今回は、全国のクラブ関係者からいただいたご支援、そこから始まった交流、今後の復興に向けての展望について紹介いたします。

日本全国、海外からの支援

昨年の東日本大震災以来、たくさんのご支援をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。震災後の夏、暑い避難所生活を続けている方々へと、徳島県の広域スポーツセンターから、うつくしま広域スポーツセンターに、2,000 本をこえる団扇が届けられました。その中には手書きの励ましのメッセージ入りのものや、「洗い物に使って」と毛糸で編んだタワシまで入っていました。私どもで、少しでも徳島の皆様の気持ちに伝えるために「徳島県より心をこめて」というシールを団扇に一本一本貼り、総合型地域スポーツクラブ（以下、「総合型クラブ」）の方々のもとへ心を届けようと走り回ったこともありました。

全国の総合型クラブからは、これまで交流のあった地元クラブを窓口に、支援物資やガレキ撤去のボランティア、子ども達のためにと鯉のぼりの贈り物もありました。

福島県には総合型クラブの連絡協議会として「うつくしま総合型スポーツクラブユニオン」という組織があります。こちらにはまた、福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会から支援金をいただきました。

海外から福島県の子ども達への支援もありました。平成 20 年度まで「福島県・ドイツ共同事業（うつくしま広域スポーツセンタードイツ研修）」の受け入れ先であった、ドイツのライン・ノイス郡スポーツ連盟から「東日本大震災で被災した福島県の総合型クラブで活動している中学生を招待し、スポーツ交流を通じて元気づけたい」という申し出があり、昨年夏に「うつくしま Bande（絆）ドイツ派遣事業」として、該当する中学生 20 名がドイツに派遣されました。

そして、放射線を気にせず思う存分スポーツを楽しんだり、ホストファミリーや関係者との交流を深めたりすることができました。

子ども達の喜ぶ姿、避難している方々の笑顔に出会えたことが、今でも心に強く残っています。詳細は、以下、公式メールマガジン（SC ステーション PR - 23 号；平成 23 年 9 月 5 日発行第 71 号再掲）に掲載されていますのでご覧ください。

http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/local/news/uploadFiles/20110905094902_4.pdf



フランクフルト空港にて

大震災を機に絆が生まれ、交流事業へ

東日本大震災の津波被害で、多くを失った南相馬市鹿島区に拠点がある「かしま元気スポーツクラブ」からドラマが始まりました。三重県津市にある「橋南スポーツクラブ」に所属する橋南軟式野球部より、外でスポーツ活動ができない子ども達のためにと、多額の支援金と仮設住宅でのサロン開催という支援をいただきました。

同じ海沿いの環境に暮らす津市の方々が、「かしま元気スポーツクラブ」を通じて福島県に来て、荒れ果てた光景を見て涙を浮かべながら呆然と立ち尽くしていました。また、仮設住宅一軒一軒にサロンへの参加を呼びかけ、仮設住宅集会所内で、「リアル野球盤ゲーム」「真珠のストラップ作り」などの活動を通して、笑顔を、心を届けてくださった姿が印象的でした。

その後、年度末にクラブ視察と御礼を兼ねて三重県を訪問した際には、地元関係者あがての歓迎を受け、「3月11日が教えてくれたもの」と題した大々的な講演会を開催していただきました。副市長や防災室長、議員なども同席して情報を共有することができました。

今年度も、震災の被害を忘れずに福島と共に生きるという想いから、「絆cup」という少年野球大会を三重県で開催。「がんばろう ふくしま」と書かれたリストバンドを参加した少年野球チームに配り、会場でも支援金を集めるなど、熱い取り組みをされています。

野球を通して集まった地域の方々に心の交流が生み出されていることに、感動と感謝の気持ちで一杯になりました。



平成 23 年 9 月に支援金と数多くの子どもたちの応援メッセージが届く(南相馬市鹿島区にある千倉体育館にて)



平成 24 年 2 月に三重県津市を訪問した際の講演会会場。手作りの看板、スクリーンが大々的に掲げられ、体育館の壁一面に南相馬市を訪問された時の写真、スポーツ少年団の子どもたちが街頭に立ち福島県のために募金活動をしている写真、そして、津市の防災マップなど会場の小学校の体育館すべてに防災意識、危機管理意識いっぱいの思いを共有しようとする空間が準備されていた。



平成 24 年 8 月に再度来県。初回の支援活動に参加のスタッフの一人が今年度急逝され、遺影を持参して元気になりつつある福島県と一緒に見る。(富岡町からいわき市に移転した浜通り広域スポーツセンター玄関にて)

総合型地域スポーツクラブの復興に向けて

総合型クラブの連絡協議会「うつくしま総合型スポーツクラブユニオン」では、役員が何度も集まり、県内のクラブの現況を確認しあいながら、今何をすべきで、できることは何かを話し合ってきました。今年度になってようやく、県内外に避難している方々も含めクラブ関係者の再会の場として、10月に初のウォーキングイベントを開催することになりました(P3チラシ参照)。

また、ほとんどの自治体が未だ避難を余儀なくされている、双葉郡のクラブ関係者でつくる「双葉ユニオン」では、帰村・帰町を果たした人びとが、地元で復興イベントを開催しようということになりました。離れていても8町村の心は一つであることを再確認することができました。

復興に向けた地域の元気づくりが、総合型クラブから発信されつつあります。

これから望まれる支援について

数多くのご支援をいただき、福島県内の総合型クラブにも活気があふれてきました。

被災した地域の方々は、支援に心から感謝していますが、決して支援されて当たり前と考えているわけではありません。自ら歩み出そうとしています。ですからこれからは、被災地の生の声をぜひ聞いて、被災地が動き出そうとしている現況に合った支援をお願いしたいと思います。

クラブの活動を通して、住民の方々は元気を取り戻してきています。ある町の教育長からは、「この町で一番元気なのは、クラブ関係者の方なんです」と言われました。その元気の源になっているクラブ関係者には、全国で苦勞を共にするクラブ関係者のみなさんの寄り添う心こそが必要と感じています。

福島県の総合型クラブから元気をお届けできるよう頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業】 10月13日(土)に会津柳津町で開催

うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業

ウォーキング in 柳津

参加者募集!!

■場所 柳津町内ウォーキングコース7km
(集合場所:やないづふれあい館駐車場)

■日時 平成24年10月13日(土)
8:30~13:20



前日開催! 現場の活動経験が豊富な講師が! 経験から感じる!「本書」を語り合います!

＜研修会＞シンポジウム
「～新・クラブ経営を考える～これからのクラブに求められるもの」

■日 時: 10月12日(金)

■講 師: 栗田 義典氏 (NPO法人スポーツネット福島代表理事) 司 会: 渡辺 氏 (NPO法人福島県総合型スポーツクラブユニオン代表理事)

■場 所: ノブス氏 (やないづふれあい館) 柳津町大字柳津字ノブス242-2 Tel: 0241-42-3511

※参加費: 柳津町民は無料、他県からは別途送料がかかります。

ウォーキング in 柳津

日 程	内 容
8:30~	受付
9:00~9:20	開会式
9:20~12:00	ウォーキング大会
12:00~13:00	交流タイム
13:00~13:20	閉会式

●柳津町内ウォーキングコース7km (集合場所:やないづふれあい館駐車場)
柳津町大字柳津字下平乙242-2 Tel: 0241-42-3511

※柳津町民は無料、他県からは別途送料がかかります。柳津町民は別途送料がかかります。柳津町民は別途送料がかかります。

募集内容 <ウォーキング>400名程度

申込方法 それぞれ各地区ユニオン事務局まで、FAXにてお申し込み下さい。(連絡先は裏面参照)

申込締切 平成24年9月25日(火)

参加料 500円 ※参加記念品・昼食引換券・温泉入浴券付
※イベント参加費は別途要。柳津町民は別途送料がかかります。

服 装 動きやすい服装・靴でご参加ください。

持 ち 物 昼食(おにぎり等)、飲料水、タオル、健康保険証(写し可)、雨具、常備薬などは参加者自身でご用意ください。

●主催: うつくしま総合型スポーツクラブユニオン ●主 協: 会津地区総合型スポーツクラブユニオン、東北地区総合型スポーツクラブユニオン

●協 賛: 柳津町、柳津町民会、福島県、柳津町民会、柳津町民会

関連リンク：うつくしま広域スポーツセンターHP

<http://www.u-kouiki.jp/>